

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブロッサムジュニア上越春日新田教室		公表日		R7年 4月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	57%	43%	・机のスペースや椅子が足りない場合もあるが、グループ分けして順番に活動するように工夫している。 ・時間やグループで分けて活動をしている。 ・人数が増えてきて狭いと感じることがあるが、グループを分けたり、外に出たりして対応している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	43%	57%		・子どもの状態という点では職員が足りないこともある。 ・配置基準は適正だが、特性が強い子が多く職員がもう少しいるともっと丁寧な支援ができると感じる。 ・時々、足りないときがある。 ・子どもの人数が多い日は職員ももう少し増やせると、子どもたちとの関わりを増やすことができるかもしれない。 ・研修を実施し、職員一人一人のスキルを上げていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	57%	43%	・一部バリアフリーになっていないが、安全に配慮して職員がついたり、階段や段差が身体機能の向上につながるような支援をしている。 ・雨天時、降雪時の階段は滑りやすいため、滑り止めシートを貼っている。	・静かな環境は作りにくい。 ・自由遊びをもう少し伸び伸びできるスペースがあると面白い。 ・洗面所と流しが分かれているといい。 ・外階段の昇降が雨や雪で濡れていると滑りやすく危険。 ・構造上の問題解決は困難だが、段差がある場所についてはご利用者様の障害特性や発達段階に合わせてその都度職員が声を掛け合って安全に活動できるように対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・ご利用者様がクールダウンする場所を選べるように配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%		・外部評価は行っていないと思う。 ・よりよい業務を進めていくために総務と相談して改善を図っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・法人内の研修だけでなく、外部研修も積極的に受講した。	
	11	支援プログラムを作成、公表に向けて動いているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか。	57%	43%		・適切なかどうか判断できない。 ・発達検査の結果がより反映されると良い。 ・充実した児童発達支援計画（個別支援計画）を作成するために、職員の専門性を活かした意見を取り入れていく。
	13	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	71%	29%		
	14	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	43%	57%		・標準化されたツールを使用していない。 ・職員で共通したツールを使用してアセスメントしていきます。また、職員の専門性を活かし、アセスメントに反映されるようにする。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・毎月の職員会議でプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・今年度は柏崎方面や松之山キョロ口に出掛けた。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	86%	14%		・長期休暇等、時間が取れず適切な見直しができていることがあった。時間が取れない時は、早めに見直しを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86%	14%	・モニタリング時に情報共有を行っている。	・共有した内容を全職員にもフィードバックしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、必要に応じてそれまでの支援内容の情報を提供しているか。	43%	57%		・移行するご利用者様がほとんどいないが、今後備えて支援内容の情報を提供できる体制を整えていく。 ・移行後の様子を電話や訪問で確認する。
	31	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	57%	43%		・共有した内容を全職員にもフィードバックしていく。
	32	地域の他のこどもと活動や交流する機会があるか。	86%	14%	・公園でリレーをする際に地域の子を誘っている。 ・公園で一緒になったり、イベントに参加したり良いと思う。	・地域の子もたちなどとの関わりの場面はないので交流することができるといい。 ・今後も公園や地域のイベントに出かけた時に地域のこどもたちを巻き込んで活動したり、事業所内の行事やイベントに招待していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		・参加を検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%		・職員一人一人のスキルを高め、家族支援ができるように努めていく。 ・今後、保護者が必要とするなら機会を設けていく。
	36	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	71%	29%		・療育を保護者様に見学していただき、面談以外でも意向を確認する機会を設けている。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	86%	14%		・ご利用者様や保護者様の意向を把握し、同意が得られるようにしていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	86%	14%		・必要な助言は伝えているが、面談ができていない。 ・定期的な面談を行い、面談内容を職員に共有する。また、児童発達支援管理責任者だけでなく、専門職員（保育士、公認心理師等）も面談を行い、多職種で連携していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	43%	57%		・定期的に保護者会が開催できるよう、計画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	71%	29%		・事故対応、緊急時、感染症対応等実践的な訓練が必要と思う。 ・定期的に訓練を行っているが、その場面を想定して保護者様とどう動くのかを共有していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%		・火災時、階段の利用が困難な場合を想定した訓練が必要と思う。 ・定期的に訓練を行い、職員全員が参加できるようにする。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71%	29%	・対応できる体制を整えている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	71%	29%		・安全計画を見直したり、確認、周知する機会を設ける。 ・定期的に訓練を行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	57%	43%		・保護者様への周知が十分ではないので、面談等で説明していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に記載しているか。	57%	43%		・放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に記載していないため、記載する。